

2023年度（令和5年度）幼稚園自己評価表

最終更新日 2023年（令和5年）12月22日

園番 6 福山市立手城幼稚園

1 幼稚園教育目標

遊んで 学んで 育ちあう てしろっ子

2 目指す自園の幼稚園像（ビジョン）

「一人一人が輝き 笑顔いっぱいの手城幼稚園」
 子どもがおもいきりあそべる幼稚園
 子どもが安心できる清潔で安全な環境
 子どもとともに深く学びあう教職員
 家庭・地域・小学校としっかり連携する幼稚園

3 目指す幼児像

笑顔いっぱいの子ども
 しっかり遊ぶ子ども
 なかよく遊ぶ子ども
 思いを伝えられる子ども

4 自園の現状分析（地域環境・園の環境・幼児観・保護者、地域との連携協力・現状課題など）

本園のある地域は、市のほぼ中央部で、商業施設や住宅が密集しており交通量が多いため、幼児が安心して遊べる場や自然に触れて思いきり遊べる環境が少ない。また市外からの転居や核家族化により、子育てについて交流・相談する機会も少なく、そのような場を求める保護者も多い。そのようなことから、幼稚園が安心・安全な場となること、家庭と幼稚園と地域とが一体となって、子どもの育ちを保障していくことが求められている。

近年園児数は減少しており、大きな集団でのダイナミックな活動は難しい面もあるが、新しい環境に慣れにくい子や、人とのコミュニケーションがとりにくい子などの入園が多くを占め「少人数の中で」少しずつその力を育んでほしいと願う保護者が増えてきている。

5歳児は、進級した喜びを感じ友だちを誘い合って一緒に活動することを楽しんだり、年少児の様子を気にかけてりする姿が見られる。また、創意工夫をしながら、新しい遊びを生み出す姿も見られる。療育施設との併行通園をする子も多数おり、中には、環境の変化に敏感で、新しいことに対して不安を感じやすく、行動を躊躇する幼児もいる。

4歳児は、入園前に療育施設や相談施設に通っていた幼児が多数おり、また、初めての集団生活の幼児も多い。新しい環境に不安は見られるものの、自分がしたい遊びを見つけて遊ぶ姿が見られたり、新しい環境にかかわったりしようとする姿が見られる。基本的な生活習慣の定着については個人差が大きい。

地域の幼稚園教育に対する関心は強く、さまざまな行事を通して多くの人たちとの出会いがあり、温かな支援と協力が得られている。また「ことばの相談室」や未就園児の会「るんるんランド」など、地域内外からの参加し、子育て相談の拠点としての役割も担っている。しかし、3年保育を希望する人、仕事をもつ人などが増えており、他施設への入所・入園が増えていることが考えられ、3歳児の未就園児の会への参加人数も減少の傾向がみられる。

5 今年度の重点目標と設定理由（ビジョン実現のために）

重点目標	設定理由
<input type="radio"/> 遊びを通して、主体的に学び、かわろうとする幼児を育てる。 <input type="radio"/> 保護者の不安に応え、課題や悩みを共有する関係を築く。 <input type="radio"/> 「ことばの相談室」や療育施設等と連携をしながら、個に応じた取り組みを行う。	・遊びを通して、一人一人の幼児がしっかり考え、自信をもって行動でき、友だちと力を合わせる大切さや最後までやりぬく喜びを感じ取ることができるようにするため、そこで、一人一人の発達の特性を共通理解すること、それぞれの課題や特性に応じた配慮や関わり、環境構成などの支援体制を充実させること、個から集団へ広げていくための保育内容を構築すること、それらを通して、それぞれの持っている力をさらに伸ばし、その個性を大切にしながら、たくましく生きるための心と体を育てていきたい。

	3年間の目標	1年間の目標 (本年度1年目)	具体的な方策	評価	評価結果
					○=反省や課題◎=改善のための方策
生きる力の基礎	様々な遊びや動きを楽しむことを通して、しなやかな体・コミュニケーション能力を育てる。	自ら進んで、体を十分動かして外遊びや運動をしようとすることや、絵本やおはなしの世界を好きになり、教師や友だちの話に興味や関心をもち、聞いたり、話したりする幼児が増える。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のねらいをもとに、好きな遊びの時間に、室内外で自ら体を動かして遊ぶことができる環境を工夫する。 毎日の朝の会や帰りの会等の場を通して、話しを終わるまで聞いたり、思っていることをことばで伝えたりするよう指導する。 	B	<p>○年長児は室内での遊びを好む幼児が多かったが、後半友達を誘って戸外で集団で遊ぶ姿が多くなった。年少児は友達との繋がりができ、一緒に遊ぶことを楽しむようになってきた。幼児の興味関心が広がる環境を工夫することで遊びが充実してきた。遊びの充実が、「できた」「うれしい」の気持ちの高まりにつながり、「みんなに伝えたい」思いとなっている。また友達に関心が向き「聞きたい」思いになってきている。</p> <p>◎話したこと、聞いたことがそれぞれの興味関心に繋がり、「自分もしてみたい」と次の活動になるように予見をしながら環境を工夫していく。</p>
	食育を通して、健康な心と体を育てる。	食べ物と健康に関心を持ちながら食べることを楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画のもと、栽培活動を行い、食に関心をもたせる。 給食指導を通して食に関心をもたせる。 	B	<p>○サツマイモや米などは気候や生育環境に影響されたことはあったが、それでも収穫を喜ぶ姿があった。年齢に応じたクッキングを行ったり、年長児が企画をみんなで収穫を喜べる会を開いたりすることで、食べることの喜びを感じることができた。給食の食材への関心にもつながっている。</p> <p>◎日常の栽培活動と保健指導等での食育と関連をもたせ、個人差を考慮して食への意欲につながるよう、体験や視覚的教材の工夫をしていく。</p>
教師の役割	幼児が主体となる環境づくり・遊びの支援を通して力量を高める。	幼児理解を深め、一人一人の特性を理解し、発達段階に合ったねらいのもと、興味をもって意欲的に活動し、満足感が味わえる環境づくりと支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の育ちにつながる環境づくりに視点をおいた毎日の保育の振り返りを行う。 アドバイザーを招いての研修やエピソード研修を学期に1回行う。 	C	<p>○毎日の振り返りで、幼児の育ちを視点にし交流してきた。幼児の見取りはできてきた。個々の特性を生かしながら支援をしていくことについて悩みを話している。それぞれ教師の関わり方に差異が生じてしまうこともある。</p> <p>◎アドバイザーに指導していただいたことを活かしながら、継続して振り返りを行い、カリキュラムを基本に幼児の姿や育ちを見通した環境構成について検討していく。</p>
信頼される幼稚園	園活動を通して、地域・保護者と共に創り上げる関係を築く。	教育内容について、細やかな情報を発信し幼稚園教育への理解を進め、活動がよくわかる保護者アンケート肯定的評価が90%以上になる。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの育ちを保護者にわかりやすく具体的に知らせるため写真とコメントを掲示する。 「幼稚園だより」「クラスだより」・HPを毎月1回以上実施・更新する。 未就園児の会を毎月1回実施し、遊びの場の提供と子育て相談を行う。 現状を考慮しながら地域行事に積極的に参加すると共に、地域だよりで交流内容等を発信する。 	B	<p>○行事だけでなく、日常の幼児の姿を写真を有効に使い、便りやHP更新を定期的に行うことで保護者の幼稚園教育への理解は進み、学期末アンケートでは、90%以上の肯定的評価となった。未就園児の会の定期的実施により参加者も増えている。地域行事にも多く参加し、地域からの声かけが増え、期待も感じられる。一方で次年度からの園児数につながらないのが課題である。</p> <p>◎今後も幅広い層に幼稚園への関心をもってもらえるよう、地域との関わりを通して幼稚園情報の発信の方法を検討していく。</p>

【生きる力の基礎】ー 健康・人間関係・環境・言葉・表現 【教師の役割】ー 計画的な環境構成・活動場面における教師の役割・人材育成

【信頼される幼稚園】ー 情報提供・他の公共機関との連携・幼児と地域住民との人間関係づくり・教育相談